座 総 審 発 第 ３ 号
令和８年１０月３０日

座間市長　佐　藤　弥　斗　殿

座間市総合計画審議会
会　長　津軽石　昭彦

第五次座間市総合計画－ざま未来プラン－基本構想中間見直し原案について（答申）

令和８年１０月７日に諮問がありました、第五次座間市総合計画－ざま未来プラン－基本構想中間見直し原案について、別添のとおり、答申します。

引き続き、社会情勢や地域課題の変化を的確に捉えながら、ざま未来プランに掲げる目指すまちの姿の実現に向け、各施策を着実に推進されることを期待します。

第五次座間市総合計画－ざま未来プラン－基本構想原案　答申内容

【総括的事項について】

答申１

○　人口減少が進行する社会を見据え、その影響を踏まえたまちづくりを進める必要がある。そのために、限りある資源を有効に活用しながら、持続可能な行財政運営に努めることが望まれる。

答申２

○　地域における様々な課題に対応するためには、分野横断的な視点や複数の施策を掛け合わせることによる、多面的、複合的な取組をこれまで以上に進めることが望まれる。

答申３

○　計画の認知度を向上させるだけではなく、市民が計画の内容を理解し、生活への結びつきを実感できることが望まれる。

答申４

○　ざま未来プランの構成について、重要施策などを明確に示し、市民に伝わるような工夫が望まれる。

答申５

○　記載する内容は、現在の計画から見直す箇所に限定することなく、計画全体の進捗状況や見直しに至る経緯などが俯瞰できる構成となるような工夫が望まれる。

【各施策について】

答申６

○　施策６「市民協働」について、施策の進捗状況を具体的な取組で測るためにまちづくり指標を追加することには理解を示すが、地域コミュニティは、自治会の加入率低下への対応などの様々な課題に直面しており、市民との協働でどのような地域づくりをしていくか、具体的な策を講じていただきたい。

答申７

○　施策２９「デジタル化推進」のまちづくり指標「オンライン手続数」については、項目数のみではなく、市民が実際に利用している状況などの達成度も分かるよう検討していただくとともに、引き続きデジタルデバイド対策を講じていただきたい。